

様式第1号（第2条関係）

㊦ 危険物仮貯蔵仮取扱申請書

| | | | |
|------------------------------------|--------------------------|------------|-----------------|
| 年 月 日 | | | |
| 下北地域広域行政事務組合 | | | |
| 消防長 殿 申請者 | | | |
| 住所 氏名 | | | |
| 危険物 | 貯蔵取扱場所 | | |
| | 所有者 住所・氏名 | 住所 | |
| | | 氏名 電話（ ） 番 | |
| | 現場管理責任者 住所・氏名 | 住所 | 危険物取扱者資格 有 無 |
| | | 氏名 電話（ ） 番 | 取得年月日 類 別 |
| 類別・品名・数量 | | 指定数量の 倍 | |
| 仮貯蔵 仮扱い期間 | 年 月 日から （ 日間） 年 月 日まで | | |
| 仮貯蔵 仮扱いの方法 | | | |
| 仮貯蔵 仮扱いの管理方法 | | | |
| 仮貯蔵・仮扱いをす るに至った理由及び期 間経過後の処理 | | | |
| ※受 付 欄 | ※経 過 欄 | ※手 数 料 欄 | |
| | 承認年月日 | | |

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 仮貯蔵仮扱いの方法には、現場周辺に設けるさく等の概要を併記すること。
- 3 仮貯蔵仮扱いの管理の方法には、消火設備、巡視の時刻と回数等を併記すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

危険物仮貯蔵取扱申請書

| | | | |
|-------------------------------------|------------------|-------|-----------------|
| | | 年 月 日 | |
| 下北地域広域行政事務組合 | | 申請者 | |
| 消防長 殿 | | 住所 | |
| | | 氏名 | |
| 危険物 | 貯蔵取扱場所 | | |
| | 所有者 住所・氏名 | 住所 | |
| | | 氏名 | 電話（ ） 番 |
| | 現場管理責任者 住所・氏名 | 住所 | 危険物取扱者資格 有 無 |
| | | 氏名 | 取得年月日 類 別 |
| 電話（ ） 番 | 指定数量の 倍 | | |
| 類別・品名・数量 | | | |
| 仮貯蔵 仮取扱い期間 | 年 月 日から | (日間) | 年 月 日まで |
| 仮貯蔵 仮取扱いの方法 | | | |
| 仮貯蔵 仮取扱いの管理方法 | | | |
| 仮貯蔵・仮取扱いをす るに至った理由及び期 間経過後の処理 | | | |
| | | | |

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 仮貯蔵仮取扱いの方法には、現場周辺に設けるさく等の概要を併記すること。
- 3 仮貯蔵仮取扱いの管理の方法には、消火設備、巡視の時刻と回数等を併記すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

1 危険物仮貯蔵取扱申請書

| | | | |
|---|--|--|--|
| | | 2 〇〇年〇〇月〇〇日 | |
| 3 下北地域広域行政事務組合 | | 4 申請者 | |
| 消防長 〇〇 〇〇 様 | | 住所 青森県むつ市〇町〇丁目〇番〇号 氏名 〇〇工場株式会社 代表取締役 消防 太郎 | |
| 5 6 7 8 9 10 11 12 | 危険物 | 貯蔵取扱場所 | 青森県むつ市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇工場株式会社 東側空地 |
| | | 所有者住所・氏名 | 住所 青森県むつ市〇町〇丁目〇番〇号 氏名 〇〇工場株式会社 代表取締役 消防 太郎 電話 0000(00)0000 |
| | 現場管理責任者住所・氏名 | 住所 青森県むつ市〇町〇丁目〇番〇号 | 危険物取扱者資格 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | | 氏名 〇〇工場株式会社△△課 危険物 次郎 電話 0000(00)0000 | 取得年月日 〇〇年〇〇月〇〇日 類別 乙種第四類 |
| | 類別・品名・数量 | 第4類第2石油類（軽油）3,000L | 指定数量の 3倍 |
| 仮貯蔵 仮取扱い期間 | 〇〇年〇〇月〇〇日から 〇〇年〇〇月〇〇日まで (10 日間) | | |
| 仮貯蔵 仮取扱いの方法 | 200Lの金属製容器（ドラム缶）を貯蔵し、手動ポンプを用いてドラム缶からポリ容器への詰め替えを行う。安全対策は別紙のとおり。 | | |
| 仮貯蔵 仮取扱いの管理方法 | 敷地内の出入管理の徹底。付近に標識及び掲示板設置。作業場所周囲はバリケードで区画。第5種消火設備2本設置。 | | |
| 仮貯蔵・仮取扱いをするに至った理由及び期間経過後の処理 | 被災地における燃料不足により、災害復興支援車両等への燃料補給を行うため。注入後、流出等ないことを確認し完了する。 | | |

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 仮貯蔵仮取扱いの方法には、現場周辺に設けるさく等の概要を併記すること。
 - 仮貯蔵仮取扱いの管理の方法には、消火設備、巡視の時刻と回数等を併記すること。
 - ※印欄は、記入しないこと。

記入要領

- 1 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
 - 2 申請日（申請提出日）を記入する。
 - 3 宛先は、「下北地域広域行政事務組合消防長（氏名）」と記入する。
 - 4 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名、事務所の所在地を記入する。
 - 5 「貯蔵取扱場所」欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
 - 6 「所有者住所・氏名」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名、事務所の所在地を記入する。
 - 7 「現場管理責任者住所・氏名」欄は、現場管理責任者の住所、氏名及び緊急連絡先を記入する。また、現場管理責任者が危険物取扱者の資格を取得している場合は、危険物取扱者資格の「有」に（この場合は免状の写しを添付する）、取得していない場合は「無」に○印をつける。「有」の場合は、資格取得年月日及び取得類別を記入する。
 - 8 「類別・品名・数量」欄は、類、品名、仮貯蔵等をする最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
 - 9 「仮貯蔵・仮取扱い期間」欄は、期間が10日以内になるよう年月日及び期間を記入する。
 - 10 「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、仮貯蔵等の方法及び静電気対策や流出防止措置等の安全対策を具体的に記入する。
 - 11 「仮貯蔵・仮取扱いの管理方法」欄は、標識等の掲示、バリケードの設置、消火設備や警報設備の設置等、危険物の管理方法や監視・消火体制を具体的に記入する。
 - 12 「仮貯蔵・仮取扱いをするに至った理由及び期間経過後の処理」欄は、仮貯蔵等を行う理由及び期間経過後の処理の方法を記入する。
- ※ 各欄の記入事項を別紙にして添付することもできる。